

SC-59. 強い横風

“Cross Winds”

by Lary Faris

抄訳：薩川俊三

強い横風はシャフラーを困らせます。シャフラーが慎重に狙ってシュートします。シュートの途中で、トルネード（竜巻）のような突風が、腕とキューを横の方へ吹き動かします。ディスクは狙いと違う方向に、予期しなかったスピードで進み、望ましくない結果になります。

「強い横風対策」を述べます。

(1) シュートする時は、出来るだけ身体を低くします。風はコート表面近くで弱いようです。風の影響を受けないように、シュートのフォロースルーは出来るだけ小さくして、腕を前方に長く伸ばさないようにします。キューをしっかりと持ちます。今述べたことは、私が新聞連載コラムに書いている正しいシュートの技術「キューを軽く持ち、ショットの最後に、腕を長く伸ばして、フォロースルーをしない」と、正反対です。強い横風時には、正しいシュートの技術では、吹き飛ばされます。シュートは、できるだけ突風を避けて行います。

(2) 風が、ディスクが進む方向と距離を不正確にします。成功しそうな難しいショットは、避けましょう。相手のディスクをコートから確実に出すように、強くシュートします。決して、キッチンに入れようとするプレーをしてはいけません。デリケートなショットは忘れよう。

(3) 最初から得点するゴー・オン・ザ・ボードのプレーが有効です。相手に、得点ディスクに向けてシュートをさせて、突風に掴まって失敗するのを期待します。

(4) 風が強いコートは、ドリフトを読むのが非常に困難です。ディスクが滑って行く時にしっかり見て、曲がったのがコートのドリフトによるものか、シュートしている時の強風が原因か、又はショットが悪かったかを調べよう。ドリフトが原因かを調べるのは難しいので、ドリフトの大部分を打ち消す強いショットをするのが最善です。

(5) エキスパートの多くは、強風の時、キューのシャフトのフォーク近くか、又はフォークに金属の重りを付けます。キューの先端を重くして、できるだけ風で動かないようにするためです。重りを付けた予備のキューを用意するプレーヤーもいます。

(6) 横風で、相手が苛々して、「風に負けている」などと、自分のミスショットの言い訳を始めた時は、相手を落ち着かせてはいけません。このコラムの「強い横風対策」を、教えてはいけません。それは、スポーツマンシップに反していません。

(7) 強い横風が吹くと、ゲームが目茶苦茶になるのは確かです。しかし、強い横風も笑って楽しみましょう。

(注：米国のトッププロ Lary Faris が 14 年間、新聞に連載した”Shuffleboard Coach”の抄訳)

